

「公民対話の機会」対話テーマ

子どもや子育てにやさしい社会機運醸成

担当部署	子ども青少年局企画経理課
概要	<p>少子化のスピードが加速する中、若者人口が急激に減少する2030年までが少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスであることを踏まえ、本市においても子育てにあたたかい社会の実現をめざし、妊婦や子ども、子育て家庭を支援する社会機運醸成を図るため、普及啓発に取り組んでいるところである。</p> <p>「民間企業で実施可能な社会機運醸成の取り組みの有無」や、現在検討や実施をしている「妊娠中、子育て中の従業員に対する取り組み」、更には「取り組みたいができない場合の障害は何か」などを伺い、必要な支援策を検討する際の参考とする。</p> <p>2030年はSDGsの目標年でもあり、SDGsゴールのGoal 5（ジェンダー平等）やGoal 8（働きがいも経済成長も）、Goal 11（住み続けられるまちづくり）のゴール達成のアプローチにもつながると考えている。</p>
企業等の皆さまと意見交換したい観点・聞いてみたい点	<p>○子どもファスト・トラック等の実施について 子どもファスト・トラックのような妊婦や子ども、子育て家庭を優先する取り組み等が各企業で行うことは可能か、またどのような方法があるのか、等の意見を伺いたい。</p> <p>○社内のワーク・ライフ・バランスの取組について 企業で働く子育て中の方々のワーク・ライフ・バランスの充実に向けた企業内での取り組みや、さらなる取り組みの充実之际し、負担等となるものは何か、等の意見を伺いたい。</p> <p>○行政に求める支援等について 子育て家庭支援等の取り組みを行う中で、さらなる取り組みの実施に向けて、企業等が期待する公的支援策などについての意見を伺いたい。</p>
特に意見交換を希望する業種等	－
これまでに実施した施策・関連事業等	こどもファスト・トラック（ナゴヤドーム、名古屋城など）
備考	－